

下呂市立小坂中学校で防災講座を行いました

令和7年6月26日（木）、下呂市立小坂中学校で1年生15名に防災講座を行いました。

学校のすぐ近くを小坂川が流れています。令和2年7月豪雨の際には、学校近くの道が浸水したり、土砂災害が起こりました。

講座では、下呂市でも被害があった伊勢湾台風や平成30年7月豪雨、今年で5年の節目にあたる令和2年7月豪雨など過去に発生した水害を学習しました。また、VRによる浸水擬似体験や伊勢湾台風A I 語り部との対話体験、マイ・タイムラインの作成を行いました。

各自がハザードマップで自宅のリスクを確認したところ、約半数の生徒の自宅が浸水し、ほぼ全員が土砂災害警戒区域に住んでいることが分かりました。

A I 語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、「普段の生活に戻れたのは何年後ですか。」「一番被害が大きかった地域はどこですか。」などと興味深く質問をしていました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

当日は、ケーブルテレビCCN、中京テレビ、中日新聞、読売新聞に取材頂きました。

